

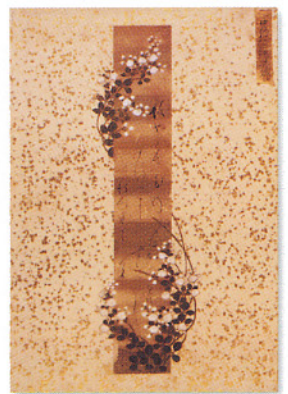
# 春嶽公記念文庫の和歌短冊

●会場 1階松平家史料展示室  
●会期 平成19年2月1日(木)～3月21日(水)

幕末の福井藩主松平春嶽（慶永＝1828～1890）と分家したその嫡子慶民（最後の宮内大臣）、さらにその嫡孫永芳（当館前館長）の3代にわたる史料群（福井市春嶽公記念文庫）には沢山の和歌短冊が収蔵されています。中でも文人藩主として知られた春嶽は、家祖田安宗武以来文事で著名な徳川御三卿の一、田安徳川家を実家を持ち、越前松平家を相続してからも様々な歌人や公家・藩主たちと交流しています。こうして春嶽が実家より齎したものに<sup>もたら</sup>加え、春嶽や文庫に献上または寄贈された著名士の和歌短冊、更に春嶽自身の詠草や親交によって得られた和歌短冊を紹介し、歌の内容は花鳥風月に題材を求め古歌を下敷きとしたものが大半です。また、手鑑として古歌（古今和歌集や新古今和歌集など古典として知られる名歌）を書写したものもありますが、いずれも流麗な運筆と様々な意匠や紙質の短冊に認められています。今回の展示では筆跡を含めた和歌短冊の美しさを堪能していただければ幸いです。

## 1 春嶽実家の大叔父、松平定信自筆『古歌手鑑』<sup>てかがみ</sup>

四季の草花やめでたい樹木などを華麗に描き配した色紙十一枚、短冊九枚を折本仕立てにしたものです。松平定信（1758～1829）自筆の古歌が記されています。春嶽の実父田安斎匡の叔父にあたる定信は、陸奥白河藩主となり、老中首座として寛政の改革をおこなった人物として知られます。大奥の厳しい引き締めをするなど果敢な政治を展開した定信は、文事の家田安家の出身だけあって生涯 138 部以上の著作を残しました。斎匡は、この短冊・色紙を衝立にして愛蔵していましたが春嶽の実姉柳河（川）藩主立花寛鑑夫人純姫の所有となり更に春嶽に贈られて折本に仕立て直され今日に伝わっています。

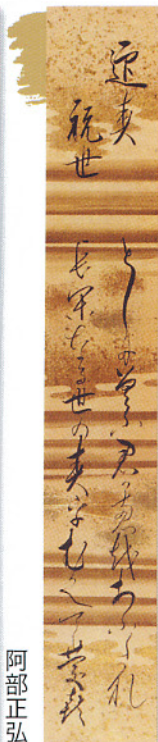


## 2 春嶽の親交と和歌短冊

松平春嶽は生涯漢詩とともに和歌を多く創りました。はじめは、田安家の侍医で歌人として著名な井上文雄に学び、福井に入国してからは市井の歌人、橘曙覧<sup>たちばなのあけみ</sup>を慕いました。春嶽は江戸時代の著名な歌人は勿論、政治家・国学者の詠歌にも親しみ、蒐集や献上されたとみられる先人たちの和歌短冊が春嶽と親交があった人物にも和歌を嗜む者が多く、それらは残された沢山の短冊によっても窺うことができます。

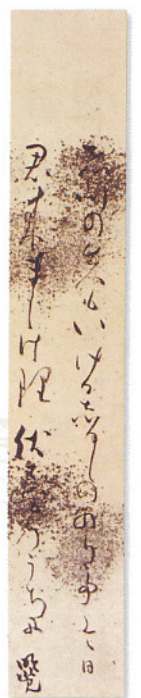
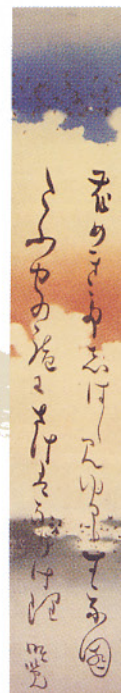
## 3 春嶽と曙覧

福井の市井に生きた孤高の歌人・国学者橘曙覧と春嶽との身分を超越した交流はよく知られます。詠歌のすばらしさ、学問の深さのみならず「貧しくとも心豊に」生きようとした曙覧の生き様は万葉調ともいわれる素朴で朴訥な和歌や書を通して春嶽の精神を魅了しました。春嶽は曙覧の茅屋を訪れた、曙覧に出仕を促したこともあり、春嶽が心の支えとして慕った曙覧の詠歌は当然として多数伝存しています。



阿部正弘

徳川慶喜



橘曙覧

## 4 春嶽家族の詠歌

春嶽の正室勇姫（細川氏）や養子で最後の福井藩主となった松平茂昭をはじめとする春嶽の家族たちも沢山の詠歌を残しています。文事を好んだ大名家の教養と品格が残された和歌短冊類に溢れているといえましょう。

### 展示品目録

番号	作品名	作者	備考
①	松平定信筆「古歌手鑑」		折本1帖
②	「和歌御手鑑」	徳川慶喜・阿部正弘 ・井上文雄ほか	折本1帖
③	<small>しきしまのしおり</small> 「志幾嶋之栞」	千家尊福・足代弘訓 ・鈴木重嶺 <small>しげね</small> ほか	折本1帖
④	僧契沖筆自詠和歌短冊帖		折本1帖
⑤	太田垣蓮月自詠和歌短冊帖		折本1帖
⑥	天賜明治天皇御染筆御製・昭憲皇太后		短冊2枚
⑦	近世越前歌人短冊	<small>もりはる</small> 足羽敬明・足羽住夏・勝沢一順（牛翁）・彦坂寿清尼・河津直入・渥美友鷹・石塚資元・證誠寺東溟・三崎玉雲他	短冊30枚（仙石亮献上）
⑧	橘曙覧自詠和歌短冊帖		折本1帖
⑨	橘曙覧自詠和歌短冊「花めきてしばし見ゆるも」云々の和歌短冊幅		1幅
⑩	松平春嶽歌集「たのしめる歌」自筆原本		1綴
⑪	井手今滋自詠和歌短冊		1枚 井手今滋は橘曙覧の嗣子。
⑫	松平春嶽家族の和歌短冊	<small>いさ</small> 正室勇姫・側室婦志子 <small>ふじ</small> ・子女たち	短冊計67枚
⑬	松平春嶽・茂昭奉悼の弔歌短冊帖		折本2帖

※ ⑫ ⑬＝越葵文庫蔵、なおその他は福井市春嶽公記念文庫蔵です。

資料保護のため、展示品が入れ替わることがあります。また、照度も制限しております。

#### 見どころ講座

##### 春嶽公記念文庫の和歌短冊

和歌短冊の書式や江戸時代歌壇について解説します。

■日時 3月10日（土）午後2時～

■場所 講堂（2階）

■担当 角鹿尚計（当館学芸員）

■定員 60名

※当日受付。先着順、聴講は無料。

#### 次回の展示

出光美術館コレクション

##### 岩佐又兵衛と俵屋宗達

3月24日（土）～5月6日（日）

※ 講演会・見どころ講座も予定しております。  
詳しくはお問い合わせください。

松平家史料展示室 展示解説シート No.24  
平成19年2月1日発行

#### 福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1

電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489

担当 角鹿尚計

印刷 宮本印刷